

2月末の人口	
世帯数	606人
男	798人
女	787人
計	1,585人
(馬路 1,088人)	
(魚梁瀬 497人)	



広報 うま

昭和61年3月24日発行
 第一一七号
 発行集 馬路村教育委員会
 印刷 安芸印刷



↑馬路村観光びらき（3月23日）

もしものために スポーツ安全保険へ！



いよいよ本格的なスポーツシーズンの到来です。馬路村では、今年もたくさんのスポーツ行事や社会教育活動を計画しています。
 そこで、安心して明るくスポーツなどをするために、スポーツ安全保

険にぜひご加入ください。
 加入方法はとても簡単です。保険料1,040円に体育会費（馬路260円、魚梁瀬60円）を加算して、馬路村教育委員会または魚梁瀬公民館へお申し込みください。

今月のスポット

≡ 1 月 ≡

- 8日 教育委員会（就改センター）
- 13日 馬路村体育会理事会（就改センター）
- 21日 森林組合幹部との林業行政懇談会（コミセン）
- 24日 小学校新入児検診（馬路診療所）
- 25日 第4回馬路村民駅伝競走大会（馬路）
- 27日 馬路ごみ焼却場落成（馬路）
- 29日 健康づくり、魚梁瀬～馬路駅伝競走大会
- 29日 農業委員会（就改センター）
- 29日 村づくり推進協議会（就改センター）
- 30日 産業建設常任委員会（就改センター）

≡ 2 月 ≡

- 4日 魚梁瀬杉を考える会（田野町）
- 7日 魚梁瀬家庭教育学級（魚梁瀬公民館）
- 8日 選挙管理委員会（就改センター）
- 9日 中芸地区子ども会駅伝競走大会（安田～中山）
「参加19チーム、魚梁瀬6位、馬路12位」
- 12日 動く福祉相談所開設（就改センター）
- 12日 魚梁瀬家庭教育学級（魚梁瀬公民館）
- 13日 文化財めぐり（安芸、芸西方面）
- 14～17日 東部美術展（芸西村民会館）
- 17日 魚梁瀬地区同和教育学習会（魚梁瀬公民館）
- 17日 所得税納税相談（就改センター）
- 20日 熊野神社地鎮め火鎮め例祭（馬路熊野神社）
- 21日 魚梁瀬家庭教育学級（魚梁瀬公民館）
- 22日 魚梁瀬小学校校内マラソン大会
- 22日 馬路小学校校内マラソン大会
- 23日 魚梁瀬古式弓射式（魚梁瀬熊野神社）
- 24日 文化財調査委員会（就改センター）
- 27日 馬路村森林組合、農協組合総会（就改センター）
- 27日 魚梁瀬家庭教育学級（魚梁瀬公民館）
- 28日 農業委員会（就改センター）

≡ 3 月 ≡

- 1日 馬路小学校児童会主催ひな祭り発表会（就改センター）
- 3日 総務常任委員会（就改センター）
- 5日 県下東部三営林署合同植樹祭（魚梁瀬）
- 7日 人権モデル地区活動推進協議会準備会（就改センター）
- 9日 村おこし講演会（就改センター）
- 11～18日 3月定例村議会（就改センター）
- 15日 馬路中学校卒業式（就改センター）
- 16日 魚梁瀬中学校卒業式（魚梁瀬体育館）

フォト・フォーカス



↑ 1月25日 村民駅伝競走大会



↑ 2月17日 魚梁瀬同和教育学習会



↑ 2月23日 魚梁瀬古式弓射式



↑ 3月1日 馬小ひな祭り発表会



↑ 3月15日 馬路中学校卒業式

村内あちらこちら

住みよい村づくりは 一人一人の心から



人権モデル地区の 指定をうけよう

この四月一日から、私たちの馬路村が「人権モデル地区」に指定されます。

このため、わが村でも「人権モデル地区活動推進協議会」を結成し、人づくりの一環としてこの運動を推し進めることになりました。

ところで、世の中はたしかに物が豊かになり、お金さえ出せば手に入らないものはないという時代になりました。

しかし、いまだにいろいろな差別やいじめがあります。また、自分の権利は主張するが、相手の気持ちは考えないという風潮が時折みられることは、決して心も豊かになったとはいえません。

昨年、馬路村で行った調査でも、「あなたは今までに差別を受けたことがありますか」という質問に対して、二五パーセントの人があると答えています。そしてその内容は、「職業のことで」や「女性ということで」という答えが上位を占めています。

私たちは、みんなが幸福な生活を送りたいと願っています。

しかし、そのためには、ふだんから一人一人が相手の立場で考えること、言いかえれば、お互いの人権を守ることが大切なのです。

日ごろ、馬路村と人権擁護機関では、人権思想の普及と高揚を図り、人権侵害から人々を救済する運動を進めてきました。

そして、この「人権モデル地区」指定を機会に、さらに次のような活動を展開していこうと考えています。

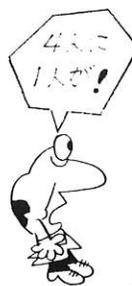
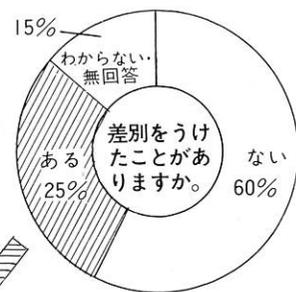
▽人権法律相談所の開設△

人権問題や法律のことでお悩みの方のために相談所を開設します。馬路地区は就改センターで偶数月の第二水曜日、魚梁瀬地区は魚梁瀬公民館で奇数月の第二水曜日となっております。

相談時間は、両地区とも午前十時から午後四時までです。どんなささいなことでも結構です。お気軽にご相談ください。

▽講演会や座談会の開催△

人権法律問題をテーマとした講演会や座談会を開催し、だれもが知っておきたいこと、また知らなくて紛争の種になる人権や身近な法律を理解するために、



意見交換などを行います。

▽広報活動の充実・強化△

広報紙や有線放送などを通して、広く人権にかかわる問題点を紹介し、紛争の未然防止およびその解決の指針を示します。

これらのほかにも、人権に関する意識調査や啓発物の配付など、いろいろな活動を通して、人権を守る運動を進める考えです。

この運動を実りあるものとするために、教育委員会、小中学校、PTA、婦人会や老人クラブなどの各団体をはじめ、村民のみなさまの積極的な参加と協力を願います。

詳しいことは、役場住民課までお問い合わせください。

あなたのうけた差別は、どんなものですか (%)

	女という ことで	身体 のことで	職業 のことで	経済的な ことで	他所から 来ている ことで	地区や 地域の ことで	その他
男性	16.7	29.6	14.8	14.8	11.1	13.0	
女性	27.8	14.4	20.7	12.4	15.5	4.1	

日常生活の心配ごとは

馬路村人権擁護委員

まで

○西野寿雄 (馬路) ☎④-2008

○井上 満 (魚梁瀬) ☎③-2011

60年度先進地視察報告

一村一品のパイオニア

美味し国大分に学ぶ

馬路村農業委員会



農業委員会では、地域振興対策の一環として、先進地における「一村一品運動」などに対する取組についての調査を行い、今後、本村における地域振興に対し、その対応を図ろうと検討しています。

今年度も、農畜産物の宝庫として知られる大分県の状態を視察しましたので、その結果をご報告します。

農産加工に

とりくむ

玖珠町



→ 玖珠町の吉四六漬

豊富な野菜に 付加価値を

童話の里として有名な玖珠町は、大分県の北西部に位置し、町の中心地でも標高三百メートルを越える広い山間盆地です。

町の総面積は二八七平方キロメートルで、その二〇パーセントにあたる五六〇〇ヘクタールを農地が占めています。

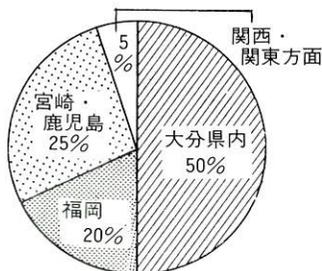
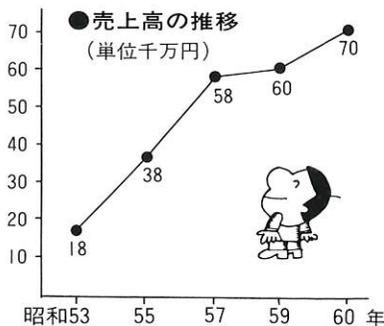
人口二万三千人の比較的大きな町で、米や野菜作りを中心に、全戸数の半数以上が農家という農業主体の町です。

ここでは、町内でとれた新鮮な野菜を原料とした漬物産業が盛んです。

漬物産業で 10億円をめざす

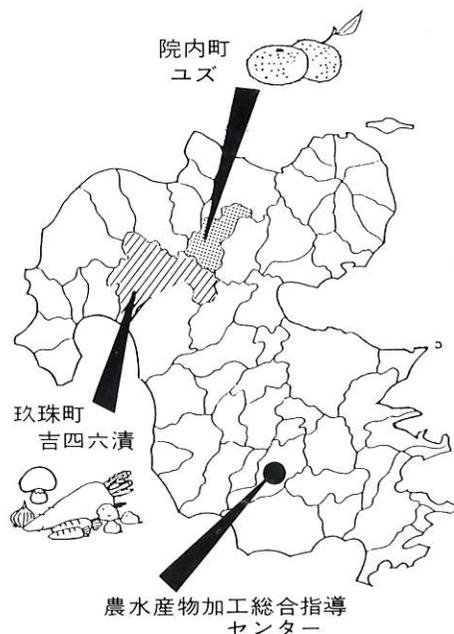
玖珠町では、農家経営の安定を図るために、転作田の高度利用を進めるとともに、変動の激しい野菜価格から農家を守ることに乗り出しました。そして、生産された野菜に付加価値を付け、有利に販売しようと、生産から流通までの一貫体制の確立をめざしたのです。

昭和五十三年、民間資本の漬



物工場を農協が買収。これを直営することによって、吉四六漬(野菜などのもろみ漬)の本格的な製造販売を開始しました。

それ以来、問屋筋を中心として、九州一円の鉄道弘済会や関西・関東の各県のデパートなどで販売拡大に努めてきました。



原料は町内で 雇用面でも成果

この吉四六漬の原料には、大根・キュウリ・ユズ・ニンジンなど十五種類ほどの野菜が使われています。このうちニンジンなどの一部を除いては、ほとんど町内で生産されたものです。

また雇用面でも、二つの工場で常時百人ぐらいが働いており、

売上高は、初年度の五十三年には一億八千万円でしたが、順調に伸び、六十年度的においては七億円以上が見込まれています。

また、販売先も大分県内をはじめ、九州各地や、関西・関東方面へと、広域的に販売が行われています。

作業の集中する時期には百五十人もの婦人を雇用しています。今日では、大分県の一村一品運動の代表として、同県内はもちろん県外でも好評を受け、地域特産物として定着しています。

大分県最大の 柚子産地 院内町

補助事業で 加工処理施設

院内町は、総面積二一四平方キロメートル、人口六千六百人で、大分県最大の柚子の産地と



→院内町のユズ製品のかずかず

して知られています。

院内における柚子加工は、農協を主体として、その事業を進めてきました。

最近、加工にめどが立ったため、昭和六十年に農業構造改善事業の導入を図り、事業費五千万円で三五〇平方メートルの農産加工処理施設を開設。今後の柚子加工の拠点として、その体制を整えつつあります。

一〇〇ヘクタールの規模に

現在、院内町の柚子栽培面積は約七〇ヘクタール、生産量は七〇〇トンといわれ、将来には一〇〇ヘクタールを目標としています。

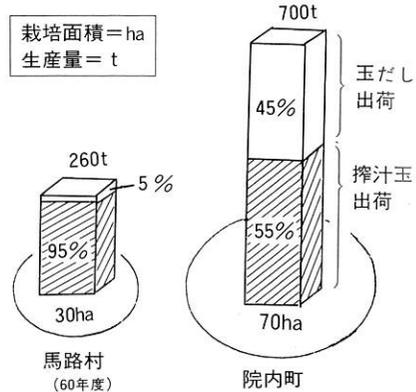
院内町での柚子の初出荷は昭和五十三年ですが、わずか七年の間に本村の倍以上の規模を有する産地に成長しました。

また、現在五五パーセントぐらゐの搾汁玉出荷を、将来は加工工場を活用して七〇パーセントに増やし、青果出荷のできない果実の有効利用を図っていく計画です。

柚子加工品としては、柚子ミン・柚子コショウ・ジャムなど、七品目ほどが商品化され、好評

●院内町と馬路村の状況

栽培面積 = ha
生産量 = t



をえています。そして、今後、一村一品運動の波に乗って、搾汁カスなどを利用した加工品の開発が、さらに進められるものと思われます。

大分県 水産物加工 総合センター をたぎねて

一村一品運動の地 大分県

通産省出身のアイディアマンで知られる平松大分県知事の発想から起こった一村一品運動は、昭和五十四年に始まりました。そしてその後、県下各地に浸透し、一・五次産業が次々とめばえ、その活動は全国から注目さ

一・五次産業への 対応をはかる

昭和五十九年には、地域特産品の付加価値を高め、消費者のニーズにこたえることのできる食品加工技術の開発の必要性から、農水産物加工総合指導センターが県直営で開設されました。同センターでは、早くも県下における一・五次産業の中枢的存在として、次のような活動を行っています。

- ①食品加工技術の研究指導
- ②農畜水産物の加工開発および品質改善技術の確立
- ③食品調味料の試験研究および技術指導
- ④食品原材料の分析・検定
- ⑤加工食品の貯蔵・包装・保存などの流通技術と安全性の研究や指導
- ⑥食品製造にともなう廃棄物や汚泥の利用に関する試験研究や技術指導
- ⑦未利用資源の有効利用の研究
- ⑧試験研究の企画調整
- ⑨加工情報の収集や提供

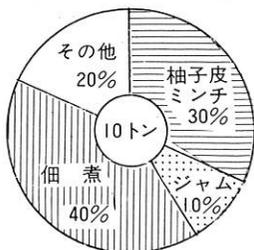
このように、県下の加工団体や技術者をはじめ、流通関係者、企業の指導者などを対象として、加工に関する最新技術の指導や情報提供など、きめこまかな対応が図られています。

馬路村の 柚子状況

昭和六十年の馬路村での柚子の生産量は、農協が取り扱ったものが一六五トン、各家庭での自家消費分が九五トン(推計)で、合計二六〇トンでした。これを一升ビンになおすと、約二万五百万分になります。

農協取扱い分の皮の出来高は一〇〇トンで、そのうちの九〇トンは原料(生皮出荷)として出荷されました。残りの一〇トンは、加工場において、佃煮やジャムに加工されており、その販売額は四百万円となっています。

▲柚子皮の加工割合 (馬路村農協)



中学生からの
メッセージ

ぼくの考え

わたしの声

村内中学校弁論大会から、今回も二つをご紹介します。中学生の発表には、私たちおとなが忘れかけようとしていくことがあらわれています。この作品をおして「平和のあり方」や「人間らしさ」について考えてみてください。

戦争恐るべき

その足音

馬路中二年

伊吹佳恵



私は、なんのために戦争をするのか、なぜ戦争が起こるのかよく分かりません。

「戦争はなぜ起こるのか」という本を読むと、どうやら領土を奪うことや、大きな国が小さな国を自分の勢力に従えようとするのが主な原因のようですね、それほどまでして、領土を奪わなくてはいけないのかと疑問に思います。

一度起こったら、勝った国も負けた国も、相当な被害を受けるのです。勝ったといって、戦

争で息子を失った家族が喜べるでしょうか。戦争で戦った人は、負傷したり死んでしまったり、よいことは一つもありません。

なのにそんなことまでして、領土を奪わなくてはいけないかったのでしょうか。こんな戦争が長引いたために、広島と長崎に落とされた原子爆弾。なんという無残なことでしょうか。

戦後四十年、戦争の本当の恐ろしさを知っている人が、だんだん少なくなっています。私たちは、もはや写真や本でしか戦

争のことを知ることはできません。でも、それはほんの一面でしかないのです。

戦争は日本にはもう関係ないと思っても、今度戦争が起これば、日本が巻き添えになることは免れないでしょう。こんなことにならないように、その国なりに努力しなければいけないと思います。

今、毎日のようにソビエトの軍用機が日本の領空を侵犯しています。それに対して、日本は夜を徹してそれに備えています。ソビエトの軍用機が来ると、ただちに離陸してその軍用機を追い払います。なんのためにソビエトは、偵察機を毎日のように飛ばしているのでしょうか。日本国憲法の第九条に書かれている戦争放棄の条文を考えてみると、自衛隊は必要ないと思います。しかし、今の首相は質の高い自衛隊が必要だと言っています。

これらのことから、今、まさに戦争の足音が近づいてきて

いるといってもよいのではないのでしょうか。

近づいてきているといつて、ただ見ているわけにはいきません。それでは、今の私たちにできること、それはいったいどんなことでしょうか。特に必要なのは「戦争の悲惨さ」を知ることだと思います。

修学旅行で広島に行ったとき、原爆資料館で見た無惨な写真や焼けたボロ服など……。しかし、実際はもっと想像を絶するものだったでしょう。

テレビにも時々出てくるイラン・イラク戦争。核爆弾という恐ろしい武器は使っていないけれど、銃などで打ち殺されて死んでいく場面が、平然と映し出されています。こんなことが戦争では許されるのでしょうか。最近なぜか、各地で起こっている戦争や核兵器のことが問題

人間らしい

仕事

馬路中一年

小松まどか



機械で物事を済ませる今、人間にしかできない仕事を選ぶことは、大変難しいことです。

そんな中、母はよい仕事につ

にされています。こういう情報を見のがしてはいけないのではないのでしょうか。今、これを見のがしてしまつたら、もう二度と「平和」という文字は帰ってこないかもしれません。こういうことにならないように、世界の情勢、日本の情勢をよく知っておく必要があります。これが、平和への第一歩だと思っています。

いたと思います。

私の母は、結婚するまでは、親の病氣・離婚など複雑な事情によって家庭で育てられない子



教育相談所だより ②⑧



昨年から「いじめ」の問題が、重大な関心事となってきました。まさに日本列島異常事態といっても言い過ぎではないでしょう。

「いじめ」の原因や背景については、諸説さまざまですが、それに対する各分野での取組みも積極的に行われています。

それではまず、「いじめ」にかかわる昨年度の主な事件を振り返ってみましょう。

自殺にはしる子どもたち！

●中学二年生の男子が、同級生から二年間にわたり、延べ150回も金をたかられたことを苦にして自殺。

●中学二年生の女子は、中学一年の夏に転校してきたが、「今住んでいる家は仮の家で、本当の家はもっと大きい」などと言っていた。そのため、級友から「うそつき、バカ野郎」とののしられ、教科書にも落書きをされるようになり、これらのいじめに耐えかねて、自宅の庭先で首つり自殺。

弱者をいじめる傾向が……

●中学一年生の女子は、幼い時から小児ぜんそくで体が弱く、性格も内向的であった。このため、小学生のころから同級生に「病気がうつる」などといじめられた。中学生になってからも、「バイ菌」「学校に来るな」「汚い」などと言われ、仲間から無視されたことなどから飛び降り自殺。

●中学二年生の男子は、友だちから「のろま」とからかわれたり、殴られたりすることを苦に自殺。

仕返しによる事件も……

●高校二年生の男子は、小学校の時にはマッチで頭髪に火をつけられた。中学時代にも大切にしていた自転車をこわされるなど、同級生数人から内向的な性格を理由にいじめられていた。このため、その主謀者である同級生の男子を殺害しようと決意。持っていた果物ナイフで背中を突き刺し、肺破裂などの重傷を負わせた。

●小学五年生の男子は、上級生である六年生に対し日ごろからたてついていた。そのため、その上級生にことあるたびに、こづかれたり体当たりをされたりするようになった。そこで、中学三年生に加勢を求め、二人で話し合っただけで、その上級生の運動ぐつに火をつけ、学校のげた箱を燃やしてしまった。

以下、次号へつづく

どもをあずかる所で、栄養士をしていました。また、親の面会がない子どもの母親代わりもしていたそうです。

結婚後は、よその子どもをあずかったり、面倒をみたりする本当の母親にしかできないようなことをやっています。

私は、母がなぜこんな仕事を選んだのか、疑問に思えてきたので、母に聞いてみました。

「お母さん、どうしてこんな難しい仕事にしたが。」

「子どもが好きやったし、自分の子どもを捨ててまで仕事に行きとつなかつた。」

と答えてくれました。

私には、とてもありがたい言葉でした。というのは、今の世の中、子どもを捨てたり、子

もをおいたまま離婚したりする人が多いからです。なのに私の母は、まず自分の子どもから大切にしようとしてくれていたのです。こういう思いがあるからこそ、今でも大変な母親代わりを務められるのでしょう。

ところで、保母にちかひ仕事を選んだ母は、毎日どういう気持ちで、どんな子に育ってもらいたいという願ひを持って、働いているのだろう。

まず、赤ちゃんに対しての思いはどんなものだろうと思っ質問すると、

「自分の子どもと違って……。」という返事が返ってきました。この答えにはうなずけました。というの、母がその言葉おりできているからです。

自分の子どもとして扱うならば、特別扱いはしないはずですが、たとえば、家の中でボールを投げたては、障子を破った場合、私だつたらよその子、赤ちゃんという理由でしかりません。でも、母はきちんと、

「こりや、なぜそんなことをする。」

と大声で注意します。厳しすぎると思う人もいるかもしれない



けれど、私は、悪いことは悪いできつぱり注意することはいいことだと思ひます。

次に、どんな子どもに育ってほしいと思つているかと聞くと、「やさしゅうて、だれにでも好かれてほしい。そして反面は、たくましくうて元氣のある子に……。」

ニコニコ答えてくれる母に対して、私は欲張りだという考えとともに笑顔を返しました。

これこそ機械にはできないことでしょう。

「お母さんはえらいんだなあ。」

機械にはできない、考えとか判断、そしてやさしさが、保母さんや母親という仕事にはあると思ひます。

今まで母にいろいろ聞いてみて、こんなことを考えました。将来、自分の子どもをきちんと育てられたら、保母さんみたいな仕事をやってみるのもいいな。今はまだ自分の将来の夢が増えたというだけで、決心はしていません。けれど、子どもをあずかることは一つの命をあずかることと同じなので、また、「責任」についても考えてみたいと思ひます。

などという考えさせてくれた母に感謝します。



馬路村の歴史と伝説

馬路城・魚梁瀬城 ④



〈三〉

馬路公民館長 山中 巖

安田軍 郷土軍に敗れる

長宗我部元親に降伏した安田城主、安田三河守鑑信は、安田中山の軍勢を差し向けて馬路へ攻め寄せてきました。

馬路城主、馬路藏人頭長正はその子若狭頭隆正とともに馬路城へたてこもり防戦しました。馬路城には、安芸国虎が駐屯させていた軍勢もいました。

笹草の住人、大井某は、大石に足を踏んばり弓を引き絞って川向かいの安田軍へ射かけました。安芸氏の駐屯軍も負けじと打って出ましたので、安田軍はこらえきれずに金林寺前へ敗走しました。

郷土軍は、岡崎の鼻を回って逃げる安田軍七人を取りこにして殺しました。また、一人は鼻をそぎ、一人はべら(舌)をそいで安田へ送り帰しました。現在、岡崎の村営住宅の東側

馬路城・魚梁瀬城 ④

に七人の亡霊を祭った「七人みさき」の祠があります。この地区は「鼻そぎ」「鼻ぞり」がなまって「鼻じょうり」とも呼ばれています。なお、べらをお祭りした「べら池様」もすぐ近くにありま

馬路藏人頭 寝首をかかれる

敗戦の様子を聞いた安田三河守はかんかんに怒りました。三河守は、この仇を討つため杉千代(杉御前ともいう)を質女として藏人頭のもとへ送り和を講じました。

藏人頭は、杉千代があまりに誠実なため全幅の信頼をよせていました。

その後、月日は流れ三年たちました。ある晩、藏人頭が狐から帰って、ぐっすり寝こんだところを杉千代に殺されました。寝首をかかれたのです。父が殺されたのを聞いた若狭

頭は、ただちに討手をさしむけて杉千代を殺しました。そして影地区の内原へ葬りました。現在、影地区でお祭りしている内原の総若宮は、杉千代の霊をとむらったものです。

若狭頭 細井山で討死

藏人頭を討ち取った安田三河守は、さらに新手の軍勢をさしむけてきました。

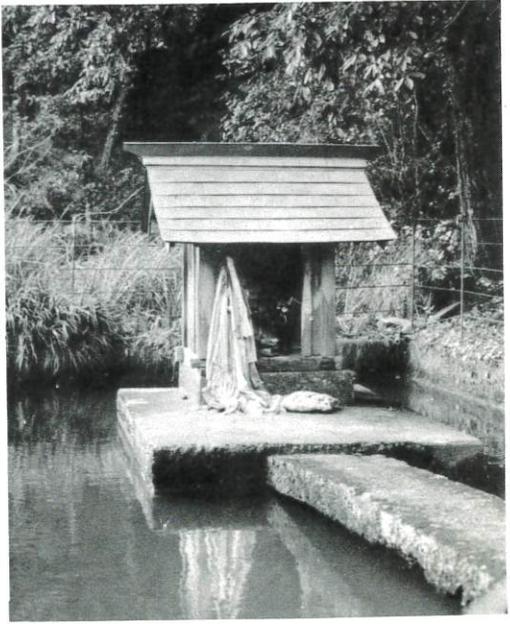
合戦は激烈をきわめましたが、馬路方は多勢にかなわず、ついに馬路城をすてて北川村との境にあたる細井山へ逃げました。

若狭頭とその子若杉丸、乳母の三人は、敵筋の杉の木のもとで討死しました。

現在、細井山の杉(樹齢約七百年)のもとに若狭頭をお祭りした祠(若杉山の神)があります。



↓ 静かなたたずまいのべら池様 (金林寺下)



また、馬路城跡には藏人頭を祭った「城八幡宮」が建てられていましたが、明治の末に熊野神社へ合祠されました。

伝説いろいろ 馬路城陥落

このようにして、郷土軍は、長宗我部元親(安田軍)に制圧されたと伝えられています。

また、馬路城落城については次のように、いろいろな伝説があります。

○馬路若狭頭は、カシキ(炊事係)である杉千代に、細井山で殺された。

○馬路若狭頭は、戦いに敗れて北川村の西谷に隠れていたが、安田方のカシキ、火尼某の手によって三年後に殺された。

現在、北川村西谷に「馬路さ

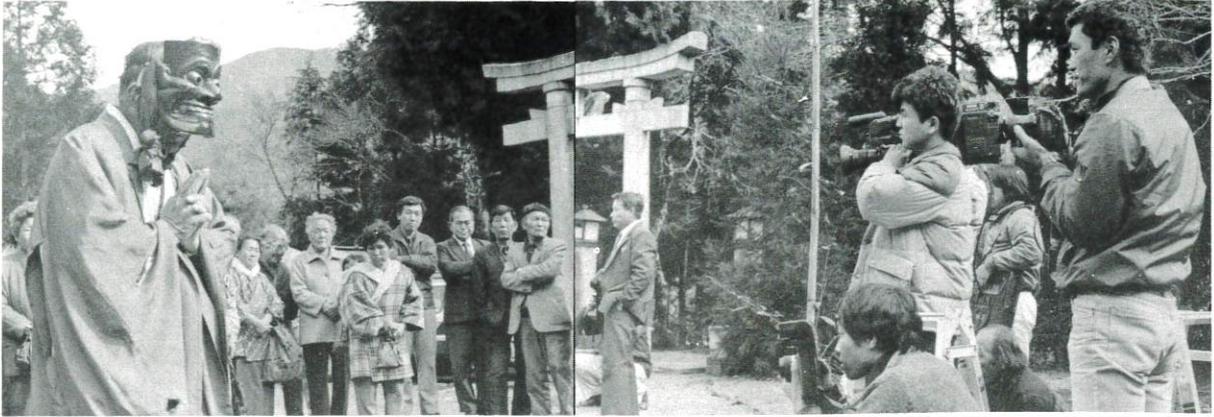
ま」として祭られている。○馬路藏人頭は、安田三河守に招かれて安田へ行く途中、中山で殺された。

歴史をひもときますと、古代から馬路村と安田町は、兄弟のように仲よく暮らしてきましたが、戦国時代の一時期、悲しい戦争があったと考えられます。しかし、これは両町村民の意志ではなく、四国を制覇しようとした長宗我部元親の挑戦を受け

での、やむをえない戦いでありました。

また、馬路氏としては、恩顧のあった安芸氏のため、元親に降伏することはできなかったの

以下 次号へつづく



↑火を鎮める神官。当日は大勢の人が詰めかけた。
←この方はだいぶ熱かったようです。



↑心頭を滅却すれば……。

村内安全を祈願する伝統行事「地鎮め」、「火鎮め」が、二月二十日馬路熊野神社で行われました。ともに村を鎮めるという意味合で、数百年前から伝えられているのですが、戦争などですたれていました。

「地鎮め」は、昭和五十三年に部分的に復活しましたが、「火鎮め」といっしょに行われるのは、約五十年ぶりのことです。

当日は天気恵まれ、多数の村民や報道関係者が詰めかけ、半世紀ぶりの行事を見守りました。

「ドン・ドン・ドンツク・ドン」と、本殿に太鼓の音が力強く響き、祭壇にはワラで作られた二つの竜と、刀や弓が祭られています。

始まりはまず、大野神官の祈りから。五人の当人たちも一心に祈りをささげます。

一時間近く続いて、「地鎮め」に入りました。

まず最初は、翁おきなと媼おなの面をつけての「翁舞い鎮め」です。翁がクワで耕した後へ、媼が米やアワをまいていくのを表現した

復活

五十年ぶり

地鎮め火鎮め

もので、ときおり痛くなった腰をたくしぐさも加わります。これは、「まいた種が実を結ぶまで災害がおきませんように」という意味だそうです。

つづいて、竜神を封じ込めにかかりました。五人の当人が弓や刀で竜を鎮めるというもので「弓の鎮め」、「太刀の鎮め」と呼ばれています。

最後は、当人五人が手を筒状に重ねて、その中に米を落とす「万後大王の鎮め」が行われました。

昔は、落ちた米の方向で占いをしたということですが、米がなかなか下まで通らず、苦労するシーンもみられました。

「地鎮め」が終わった後、ワラの竜は、神社の裏に埋められました。

午後からは、いよいよ「火鎮め」、俗にいう「火渡り」です。カシの木を燃やし、その灰の上を素足で歩いて災害がないように祈願するものです。

灰の中には、まだ赤く燃える木も残っていて、「熱いっ！」と途中で飛び逃げる人もいて、観客からはドツと笑いがあがりました。

それでも約三十人がこの「火渡り」にチャレンジし、村内安全を祈りました。

今年も、災害などがおきませんように、心から願いたいものです。

国民年金がかわります

4月1日スタート

日本の人口の高齢化は、諸外国に例をみないスピードで進んでおり、二十一世紀には世界屈指の高齢化社会になると見込まれています。このような高齢化社会においても、年金制度を安定したものとするために、国民年金法が改正され、四月一日からスタートします。

基礎年金の制度

新制度では、二十歳から六十歳までの人はすべて国民年金の加入者となり、共通の基礎年金を受けることとなります。

基礎年金には、①老齢基礎年金、②障害基礎年金、③遺族基礎年金の三種類があります。



そして厚生年金や共済年金は、基礎年金に上乗せして支給される報酬比例の年金となります。

加入しなければならぬ人は

次に該当する人は、国民年金に加入しなければなりません。

▽第一号被保険者△

①日本国内に住んでいる二十歳以上六十歳未満の自営業者などやその家族

②国会議員、地方議会議員とその配偶者

③厚生年金や共済年金などから障害年金を受けている者とその配偶者

④厚生年金や共済年金などから遺族年金を受けている者

▽第二号被保険者△

厚生年金・共済年金の加入者（国民年金と二重に加入

▽第三号被保険者△

厚生年金・共済年金加入者の被扶養配偶者で、二十歳以上六十歳未満の人

加入手続と保険料

第一号被保険者は、今までどおりご自分で加入手続をし、保険料を納めなければなりません。第二号被保険者と第三号被保険者は、厚生年金や共済年金の各制度から基礎年金に必要な費用をまとめて負担しますので、個別に国民年金の保険料を納める必要はありません。

加入手続は、第二号被保険者の場合は会社などでするので、ご自分する必要はありません。しかし、第三号被保険者は、役場または魚梁瀬支所に届け出て、必ず確認を受けなければなりません。

また、第二号被保険者から第一号被保険者へ、第一号被保険者から第三号被保険者へといった種別変更の際にも届出が必要ですので、忘れずに手続をお願いします。

詳しいことは、役場の国民年金係までお問い合わせください。



郵便局 だより

郵便小包の取扱店をご利用ください

日浦の西野商店が郵便小包の取扱店になりました。

西野商店では、郵便局の窓口が業務を行っていない休日や夜間でも、小包をお預かりできますので、大変便利になりました。

また、郵便小包でも「こわれもの」や「なまもの」を取り扱っております。馬路特産物のユズやシイタケなどを送りますときには、ぜひ郵便小包をご利用ください。なお、郵便局にご連絡ください。

されば集荷にお伺いいたします。

馬路郵便局 ☎④-2220



お祝いのメッセージはレタックスで

レタックスは、手書きの文章やイラストなどをそっくりそのまま、スピーディーに送ることが出来ます。

入学や就職、結婚などのお祝いのメッセージを送るときに、ぜひご利用ください。慶祝用の鮮やかな封筒でお届けしますので、大変喜ばれると思います。料金は、レタックス用紙(A4大)一枚分五百円です。

相撲大会のお礼と決算報告

昭和60年度熊野神社奉納相撲大会には村民のみならず各種団体などから、多額のご寄付をいただき、ありがとうございました。

収入の部 馬路体育会 単位：円

科目	金額	備考
一般寄付金	318,800	各種団体および村民からの寄付金
計	318,800	

支出の部 単位：円

科目	金額	備考
相撲賞金	200,000	団体および個人賞金
事務費	17,430	賞状など消耗品
保険料	2,232	傷害保険掛金
準備費	19,138	準備・反省会費
備品費	80,000	まわし
計	318,800	



←たのむぞ/あとは任せろ。最終区のスタート地点で



第四回

馬路村民駅伝競争

森林強し四年連続 中学は馬中3A

第四回馬路村民駅伝競走大会
は一月二十五日に行われました。

当日は晴天に恵まれ、一般十
二チーム、中学生九チームが参

加し、午後二時三十分馬路村
民運動場をスタート。

一般の部では、森林Aと魚梁
瀬体育会が競り合う展開となり、

第三区を終わったところでは同
タイムで並びました。

しかし、四年連続優勝をねら
う森林Aは、第四区の小松博が

区間二位、第五区の南木義伸が
区間三位と安定した走りをつな

ぎ、総合32分59秒で優勝をかざ
りました。第二位には6秒差で

魚梁瀬体育会、後半追いあげた

役場Aは三位に入りました。

なお、第五区では、田中正義
(農協)が5分52秒のタイムで
区間新記録を出しています。

中学校の部では、馬路中3A
が三つの区間を制するなど、安

定した力で優勝しました。第二
位には馬路中2A、第三位には
魚梁瀬中Aが入賞しています。

中学校の部

選手名の下の○数字は区間順位
●は新記録

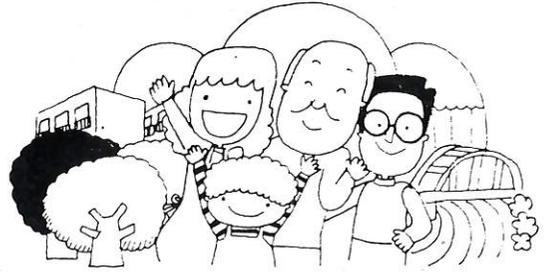
大会記録 順位 チーム名	区間 総合 8.9km	1区	2区	3区	4区	5区
		村民運動場 ~営林事務所 1.3km	営林事務所 ~相名 2.0km	相名~ 熊野神社 1.3km	熊野神社~ 相名会館 1.7km	相名会館~ 村民運動場 2.6km
馬中3A ●	30分35秒	西野千品○ 4分33秒	大野登央○ 6分42秒	田中佳代子 4分53秒○	丸山和伯○ 5分27秒	木下彰二○ 7分44秒
①馬路中3A	32分23秒	西野千品 ①4.56	八木浩二 ①7.18	五味志乃 ②5.07	西山敦史 ②5.59	芝久義 ①9.03
②馬路中2A	32.33	小松ちがや ③5.06	中河広吉 ③7.23	田中佳代子 ①4.59	木下伸一 ③6.01	丸山貴匠 ②9.04
③魚梁瀬中A	33.21	伊吹香絵 ⑤5.11	五百蔵誠一 ②7.20	五百蔵志保 ⑥5.28	五百蔵浩二 ④6.05	藤原俊二 ③9.17
④馬路中1A	34.20	尾谷暁 ②4.57	樋口達也 ④7.53	小松まどか ⑤5.18	乾真琴 ⑥6.41	笹岡和仁 ④9.31
⑤馬路中2B	35.32	山中都江 ④5.07	清岡智樹 ⑧8.27	伊場靖香 ③5.12	小島聖也 ⑤6.26	大野一幸 ⑥10.20
⑥馬路中3B	35.54	田中睦美 ⑥5.20	平野文康 ⑤8.06	佐古美月 ⑨6.22	笹岡大輔 ①5.56	八木昭一 ⑤10.10
⑦魚梁瀬中C	38.33	山崎文香 ⑧5.41	山崎榮喜 ⑥8.13	小原久美 ⑧6.13	伊吹哲 ⑧7.39	山中一之 ⑧10.47
⑧馬路中1B	38.35	木下法子 ⑦5.23	乾和也 ⑨9.03	西野里紗 ③5.12	東谷一幸 ⑦7.32	古田乾 ⑨11.25
⑨魚梁瀬中B	38.38	新居朝香 ⑨5.48	細川和彦 ⑦8.23	萩野美保 ⑦6.09	上総良一 ⑨7.44	山中太志 ⑦10.34

一般の部

大会記録 順位 チーム名	区間 総合 30分37秒	1区	2区	3区	4区	5区
		竹内仁○ 4分09秒	清岡明德○ 7分10秒	横山洋○ 4分27秒	清岡哲也○ 5分53秒	南木義伸○ 田中正義○ 8分38秒
①森林組合A	32分59秒	上総達也 ②4.41	清岡真治 ①7.58	谷井憲夫 ③5.02	小松博 ②6.05	南木義伸 ③9.13
②魚体育会	33.05	市川浩司 ③4.45	橋口福男 ②8.09	田辺和男 ①4.47	島田朝彰 ③6.21	竹内仁 ②9.03
③役場A	33.31	清岡博之 ①4.34	山崎出 ③8.23	岡田元生 ⑤5.23	大野烈 ④6.32	清岡明德 ①8.39
④森林組合B	36.24	岩田善稔 ⑪5.41	山中孝司 ⑤8.35	清岡興徳 ②4.55	乾準司 ⑦7.09	清岡哲也 ④10.04
⑤魚営林署A	36.36	岸日出正 ④4.46	谷義雄 ④8.32	鶴内和典 ⑨5.40	藤原寿昭 ⑨7.20	坂本和隆 ⑦10.18
⑥魚小学校	37.06	内原章照 ⑦5.09	山中尚之 ⑩9.20	井上貴文 ④5.12	湯浅雅喜 ⑥7.08	小原健 ⑥10.17
⑥馬路農協	37.06	尾谷倫章 ⑥5.02	前田博志 ⑧9.06	菜虫一夫 ⑧5.34	田中正義 ●5.52	谷井慎二 ⑩11.32
⑧馬子ども会	37.29	五味理加 ⑧5.15	笹岡卓洋 ⑦9.00	中屋容子 ⑩5.57	中岡恭子 ⑧7.11	小松孝裕 ⑤10.06
⑨魚青年団	38.28	松尾昭彦 ⑤4.59	森昭人 ⑨9.12	奥西弘江 ⑩5.45	広石功 ①8.07	熊野義助 ⑧10.25
⑩魚営林署B	38.30	梶原哲也 ⑨5.31	半崎修 ⑩9.38	正岡光彦 ⑥5.27	秋山雅弘 ⑤6.42	森脇和正 ⑨11.12
⑪女教師チーム	41.43	篠原みほ ⑩5.40	浜渦かおり ⑩9.42	芦原睦 ⑩6.17	山中惠理子 ⑩7.52	池地美弥 ⑩12.12
⑫役場B	43.07	五藤寿史 ⑫5.47	南木康徳 ⑥8.52	久保可奈 ⑦5.28	山中隆 ⑫9.42	清岡敬二 ⑫13.18

つくるページ

のびっば



ひなまつり発表会



馬路 S.K

「♪あかりをつけましょぼんぼりに、お花をあげましょ桃の花♪」
 毎年、ひな祭りの何週間も前から、なにかにつけてこの歌がつい口をついて出、幾度となくわが家の男の子と歌うこととなる。
 いつもは歌だけで終わるひな祭りが、今度初めて小学校のひな祭り発表会へ出かけることとなった。
 生徒たちの手づくりによるおだいり様とおひな様の飾られた会場での発表会。流れる子どもたちのひな祭りの歌。なんだか

↓さすが上級生、表現力もバツグン（5、6年生の発表）



楽しい気分になってきた。
 子どもたちの劇が始まる。みんな顔見知りの知っている子ばかりである。その子どもたちが、どの子も実に生き生きと自分の役割を演じ、おくすることなく表現する。自分の子どものころと思い比べて、その違いに目をみはらせてしまう。
 クラスごとの発表劇で、下級生は一所懸命でかわいらしく、上級生はさすが上級生といわせるだけの表現力を発揮させ、おなかを抱えて大笑いもしたり、またしんみりさせられたり……。あつという間に二時間が楽しく

過ぎてしまった。
 終わったときは、なにか満ち足りた満足感のようなものを覚え、帰るお母さん方やおばあさんのどの顔も同じようでした。
 すこやかな子どもの成長を祝うひな祭り。どの子も今日のように生き生きと目を輝かせ続けて、成長して欲しいものだと思う。
 今年は、本当に楽しいひな祭りとなりました。



馬路・魚梁瀬俳句会

善心
 白壁の五軒長屋に雪がまう
 水道を落として眺む冬の池
 早春のすすめ上手なイワシ売り
 清子
 還暦の夫と楽しむ阿波の春
 春の雪畑より帰る地下足袋
 銀世界一直線に靴の跡
 雅子
 魚梁瀬杉新雪乗せて走り行く
 盆梅も案内幕も香りけり
 古時計少し遅れて春寒し
 うた子
 路のとう一人暮らしの淋しさよ
 節分や尼さま歌いかつ踊り
 峠一日白一色の銀世界
 暁
 春寒し人居るらしき薬師堂
 浅春の人ひそやかに書道展
 ちづ子
 それぞれの鉢に寒肥一人言
 銀世界飛行機雲の見あたらず
 銀世界大正琴のながれる寺
 百合子
 半額の靴が目をひく春隣
 新任の医師をまつ峠二月尺
 切株に日当る向う笹子鳴く
 喜美栄
 氷柱手に温泉を去る一人かな
 ちぎり絵の色あせすぎた寒椿
 二年越し編みしセーター日脚伸び

春の全国交通安全運動

4月6日～15日

重点目標

- ①シートベルト、ヘルメットの正しい着用の徹底
- ②子どもとお年寄りの交通事故防止
- ③二輪車の無謀運転の追放
- ④飲酒運転の追放



みんなで 村民

もちひろい

馬路 小松美和

田舎に住んで、心躍るもの一つに「もち拾い」がある。

このところブームなのか、馬路ではあつちもこつちも新築や増築で、そのたびにだれかが拾ってくる。おかげでわが家の冷蔵庫には年中おもちが入っているというありがたさである。

私はどうも根が貧困なのか、闘争意識が強いのか、はたまた欲望のかたまりなのか……。「何時にどこそ

こでもち投げをやるぞー」という声を聞くのものなら、胸は高なり血は騒ぎ、その時刻まで行くこうか行くまいかと、心の葛藤が続くのである。

なりふりかまわず、ワーとおもちを追いかけるわが姿を思い浮べて、恥じらいの思いが頭を出したりひっこめたり。

二十分前、十分前と時間が近づくと、しゅう恥心はムンズと腹の奥に押し込めて、スーパリーのナイロン袋を片手にウワーと走り出すのである。



「こないこない。こつちに飛んでこない。ここにも投げてー」と、人ごみの中でわめきつ、だれよりも素早くつかんだときの快感は、体験した者でなければわかるはずがない。

「おれらあ、血走った目で、もち拾いをしゅう人を見ゆう方が、なんぼおもしろいもんで」とか「みつともない」などと、腕組みなどして高みの見物をして

いる連中にはとうてい味わえない感動である。一足二百円のパンティストッキングが、もののみごとくに穴あきとなり、足を踏まれてびっこをひいても、こんなとき

のドロの付いた一個のおもちにはかえられないのである。折も折、わが住宅の庭におもちが飛んできるとなつた。

隣家の増築で、都合上、こちらの庭に投げさせてほしいとのこと。福の神が東になって飛んでくるようなもの。「どうぞ、どうぞ」と、喜んで使ってもら

ことにし、時間まぎわに飛び出して行ったことはいうまでもない。「いやあ、さすがにお母さん、よけえ拾おちゅう」という娘の賛辞に得意顔で、一つ、二つ、三つと数えてニマリすれば、娘が一言、「やっぱり、お母さんは長生きする」。



ご出生おめでとーございます

父	中野 正雄	母	赤ちゃん	続柄	長女	月日	1月8日	部落	魚梁瀬
	牛窓 和幸		恵理		二男		1月18日		日浦
	乾 恭介		正也		長女		2月15日		相名
	田辺 和男		春菜		長女		2月16日		影
	中屋 博義		一花		長女		2月16日		影
	岡林 淳文		紗織		二女		2月28日		魚梁瀬
	萩 雄二		優		二女		3月3日		中ノ川
	清岡 健二		千尋		長女		3月7日		相名
	井上 太		杏奈		二女		3月12日		日浦
			真利亚		二女				

ごめい福をお祈りします

氏名	岩城 多津	性別	女	行年	81	亡月日	3月16日	世帯主	多津 本人	続柄	本人	部落	影
	日野 俊男		男		48		2月3日		俊男 本人		本人		魚梁瀬
	清岡 清意		女		74		2月5日		博基 母		母		相名
	岡田馬之助		男		87		1月26日		速雄 父		父		相名
	五百蔵春繁		男		84		12月29日		卓三 父		父		魚梁瀬



鹿山子
身震いをおさめしよりの弓初めあわゆきの寺や鰐口掌のひらに猫の掌の冷たきにふれ西行忌



家族で話し合おう 交通安全



見込み横断は危険

横断歩道を渡るとき、あなたは車が止まってくれるのを確認してから渡りますか、それとも“多分止まるだろう”と思って渡りますか。

もし、後者の渡り方だったら、それは大変危険です。横断歩道はあくまでも道路の一部。信号機のない横断歩道ではドライバーが歩行者に気づかなければ、車は止まらないのです。ですから、歩行者は“横断歩道だから車は絶対に止まるだろう”という気持ちは捨ててください。

とりわけ新入学を迎える子どもたちは、通学しはじめるとともに、行動範囲はぐんと広がります。お子さんには、「ドライバーの目を見て、車が止まったのを必ず確かめてから渡る」と教えましょう。

安全に横断歩道を渡るために「自分の目で安全を確かめる」ことをぜひ励行してください。

ハレーすい星に 思うこと

今、ハレーすい星が地球に接近している。七十六年ぶりに、また帰ってきたのである。

この間に、地球はずいぶん変わってしまった。もちろん、その中の日本も変わった。

人々の生活も文化も、そして経済も確実に成長した。だが一つだけ悪いことには、戦争を起こしてしまった。そしてそれに敗れ、そこから戦後が始まった。日本は、みんなが力を合わせて、今の日本を築いたのである。私は、戦後はこのままずっと

続いてほしいと思うし、この平和な日本を続けていくことが、私たちの大きな仕事だと思う。今から七十六年後、またすい星の来るときまで、この平和をどうしても守っていかねければならない。

四月十一日、そういう目で地球を離れて七十六年の旅に出るすい星を見送りたい。だから、その夜はどうか暗れてほしい。

そして、自分の横に愛する人が一緒にいてくれたら、それはどんなに幸せだろうと思うのである。

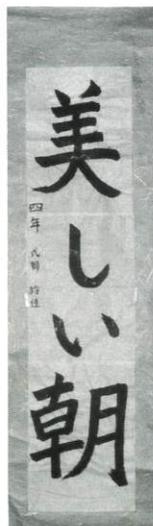


ルールを守って 正しい選挙

「お互いしっかり見極めなければ…」



ミニギャラリー



←馬路小四年 式部玲佳



←馬路小六年 大野康二



六年 大野 康二